

流行ニュース:

<アフガニスタンにおけるポリオ根絶の進展 1999-2000>

1988年に開催された世界保健会議で、2000年までに地球上から脊髄性小児麻痺(ポリオ)を根絶することが決定され、東地中海地域もその根絶活動に参加することになった。1979年以来紛争が続くアフガニスタンでも1994年にポリオ根絶活動を開始し、依然ポリオの感染地域ではあるものの1999年から2000年にかけてポリオ根絶に向けて効果的な活動を行ってきた。

* 定期的予防接種

アフガニスタンの小児(1歳以下)の経口ポリオワクチン3回接種(OPV3)の接種率は、1996年で30%であると推定されていた。特にアフガニスタン北部は国内紛争が勃発しアクセスが難しいため、接種率が低かった。そこで1999年の予防接種拡大プログラム(EPI)促進キャンペーンでは、2歳以下の小児82,000人を対象に予防接種を行なった。2000年には定期的予防接種プログラムを改善するにあたって目標と戦略を明確にするため、包括的な5年計画が草案された。

* 補完的なOPV(経口ポリオワクチン)予防接種

ポリオに対する補完的な予防活動として全国ワクチン接種日(NIDs)が設けられ、ポリオの接種が1997年の春から毎年行なわれている。その結果、1999年と2000年のNIDs4ラウンドでは高接種率をもたらした(表1、WER参照)、2000年春のNIDsには、2地域を除く全ての地域で接種を実施するまでになった。質の改善とNIDラウンドの普及をもたらした主要な要因は、地域レベルの綿密なNID計画の立案および適切な指導による各戸別の予防接種であった。

* AFP(急性弛緩性麻痺)サーベイランス

アフガニスタンのAFPサーベイランスシステムは234箇所に広がり、非ポリオAFP率は、1999~2000年にWHOの基準(15歳未満の子供100,000人あたり1.0以上)を上回り1.2になった。現在の課題は、AFP患者の適切な便検体を適切な時期に採集することである。質の改善のために、全AFP患者を発症後できるだけ早く詳しく調査すること、定期的に大病院や礼拝堂を訪問し積極的なサーベイランスを行なうなどの努力が続けられている。

* 編集ノート

アフガニスタンは、いまだにポリオの感染地域ではあるが、ポリオ根絶の解決策を効果的に実施している。1999年から2000年には、非ポリオAFP率はほぼ2倍になり、予防接種の実施地域数はNIDラウンドの拡大と共に伸びている。2000年の秋には、過去最も多い予防接種を実施することができた。このようなNIDラウンドの質の向上に大きく貢献したのは、モニタリングの改善や、NGO、国際連合機関、地域の諸機関の協力である。多くの課題が残されているが、アフガニスタンのポリオの根絶は、打ち続く国内紛争、大規模の人口移動やアクセスの困難さなどの社会的な背景の中でなされている。NIDs期間中の停戦協定や休戦日について常に交渉が行なわれてきたが、2000年までに一部が達成されただけである。孤立状態に置かれている人々が、ワクチン接種を受けられるためには、地域平和の維持と共に、新たな対策を続けていく必要がある。現在、2001年のNID5ラウンド実施に向けて準備が行なわれているが、これらの取り組みには、引き続き様々な機関からの協力が必要とされるだろう。表1: AFPサーベイランスとNID達成率、アフガニスタン、1999年および2000年(WER参照)

<感染地域リスト>

2001年3月1日現在のペスト、コレラ、黄熱感染地域がリストアップされている。(WER参照)

流行ニュースの続報: <インフルエンザ>

クロアチア(2001/2/26): 2月の第1、2週に流行しており、インフルエンザA型に関連している。

ギリシア(2001/2/26): Thessalonikiで1月最終週に発生して以来、持続しており子供を主として感染が広がっている。A型(H1N1)ウイルスは4歳男子から分離され、A/New Caledonia /20/99型であることが判明した。

ウクライナ(2001/2/26): 2月の第1週から広まっている。A/New Caledonia 20/99型が分離された。

イギリス(2001/2/26): わずかにベースラインを上回ったままである。B型が依然として主に流行している。最近分離された株はA/New Caledonia/20/99型様、およびまたは、B/Sichuan/379/99型様ウイルスである。

<疫学サーベイランスおよび伝染性疾病のコントロール>

2001年10月から12月、疫学国際トレーニングコース(フランス語)がパリで開催される。詳細はWERを参照。

(田口敦子、高田啓、小西英二)

地図 1: 野生型ポリオウイルスのポリオ症例数、アフガニスタン、200年

AFP患者の全体数は230から253に増加したが、AFP患者から分離した野生株のポリオウイルスの全体数は63から28に減少した。

